

(3) 今後の取組

・全国平均と比較して低かったのは、「文学的な文章の構成や展開、登場人物の設定を捉える問題」であった。授業では「読むこと」の領域に重点を置き、文章の構成や展開、登場人物の設定を正確に捉えることを意識して取り組ませたい。

〔数 学〕

全国・県を上回る

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 16問中2問

・2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く

(「具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうか」を見取る問題です)

・反比例の表において、 x の値が -3 のときの y の値を求める

(「反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めることができるかどうか」を見取る問題です)

② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 16問中0問

・なし

(2) 全体的な傾向

・平均正答率は、全国の平均正答率と比べて高い

・学習指導要領の領域別では、A 数と式、B 図形、D データの活用は全国よりやや高く、C 関数は全国より高い

・評価の観点別では、思考・判断・表現は同程度で、知識・技能は全国より高い

・問題形式では、記述式は同程度で、選択式、短答式は全国と比べて高い。



(3) 今後の取組

・説明したり、根拠を示したりすることは、「特別なこと」ではないという意識を育てる。そのために、子どもが自らの考えを伝え合い、深めていく場面を授業の中で設定する。

生徒の「あれ」「これ」という曖昧な表現を認めつつ、生徒の交流を活用しながら、数学の用語で表現するとどうなるのか働きかけをする。

急に記述をすることは難しいから、まずは話すことから取り組み、徐々に根拠を交えて数学用語を適切に使って説明をする力をつけていくことを目指す。

自分の根拠や説明を他者に見てもらうことによって、伝わりやすい説明に変わるから授業の中でお互いの考えを交流することを大切にする。

〔英 語〕

全国を下回る・県とほぼ同じ

英語は、問題16問に回答しました。全国平均を上回ったのが4問、下回ったのが4問でした。

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

③ 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 10問中4問

・注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する

(「音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうか」を見取る問題です)

・ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する

(「日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうか」を見取る問題です)